

（第5報）全老健、2017年（愛媛県）

演題名：会話力賦活システムは会話成立回数を22%、増加させた

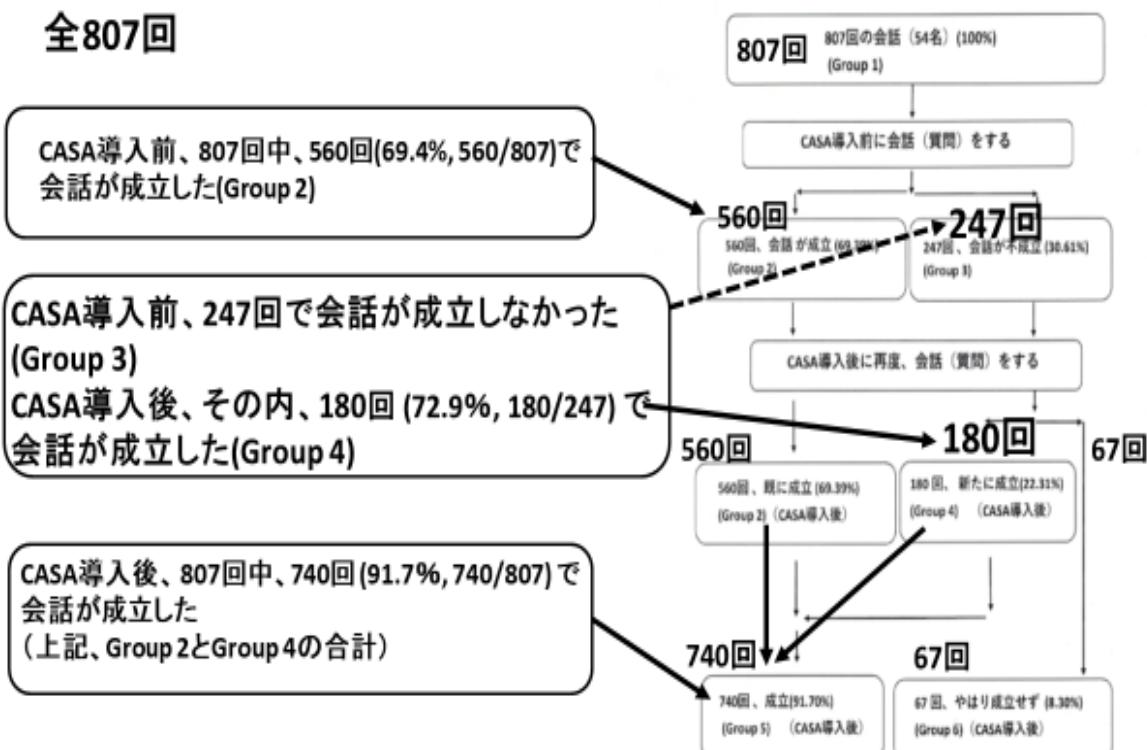
副題：54名（のべ807回）に装着した（第5報）

発表者：浅田 章¹⁾、鎌田 琢磨²⁾、柴田真弓¹⁾、岡山広子¹⁾、河合昌子¹⁾、馬込真琴¹⁾、千葉喜代美¹⁾

所属：すこやか生野¹⁾、リードアライアンス²⁾

結果 会話の回数と成立頻度

図1 会話の成立回数（頻度）（のべ807回、54名）



概略：54名にのべ807回、CASA導入の前後で会話（質問）を行った。CASA導入前に、560回(69.39%)、導入後に、740回(91.70%)、会話が成立した。CASA導入前に、54名の内、26名(48.15%)で、CASA導入後、42名(77.78%)で、毎回会話が成立した。